

平成29年 6月30日

第308号

〔発行〕 (公社)神奈川労務安全衛生協会藤沢支部
支部長 J X 金属株式会社 倉見工場
編集 藤沢支部広報委員会
<http://www.roaneikyo.or.jp/shibu/fujisawa/index.htm>

平成29年度

「全国安全週間」を迎えて



藤沢労働基準監督署

署長 鹿島俊樹

日頃から労働基準行政の推進にご協力いただき、ありがとうございます。

本年も、6月1日から6月30日までを準備期間、7月1日から7月7日までを本週間として、全国安全週間が実施されます。

本年のスローガンは、「組織で進める安全管理 みんなで取り組む安全活動 未来へつなげよう安全文化」です。

さて、長期的に見た労働災害の減少は目を見張るものがあり、全国の死亡者数は平成6年には2,301人でしたが、平成28年には約4割の928人となっています。

このような大幅な災害減少の背景には、産業構造の変化などの要因もあるでしょうが、やはり、企業の安全衛生管理や国の政策がうまく機能してきたと考えるべきで、普通に考えると、今までと同じような対策を続けさえすれば災害の減少はこれからも続くように思えます。

しかし、現実には、労働災害を現在の水準以上に減少させるためには、第三次産業での災害の多発と、生産設備や化学物質の多様化という2つの障壁があると考えられます。

まず、第三次産業での災害多発ですが、近年では、小売業、飲食業、社会福祉施設などの第三次産業で発生する労働災害は、全産業で発生する災害の半数近くを占めています。このため、労働基準監督署でも、これらの業種について、安全衛生管理体制の整備や、多発している転倒

災害防止などの対策を講じていますが、事業場の数が多く、業態や問題点も多様であるため、なかなか目に見える成果が上がりません。また、第三次産業の多くの職場では、製造業や建設業などの職場に比べると、安全に対する関心が低く、日常の取組も十分でないという問題もあります。

次に、生産設備や化学物質の多様化についてですが、生産技術の進歩や流通の拡大の結果、労働安全衛生法などの法令に具体的な規制がない設備や物質が多くなっています。このため、職場の潜在的な危険を見つけ出し、これを除去・低減するリスクアセスメントの役割が大きくなっていますが、リスクアセスメントに対する取組の状況は、企業規模などによって差があるのが実情です。

労働基準監督署でも、このような問題を乗り越えるべく努力していますが、そのためには神奈川労務安全衛生協会の会員事業場の皆様の御協力が不可欠です。

全国安全週間を契機にして、日頃から災害防止に積極的に取り組んでいる職場では日常の活動を再点検してさらに取組を前進させていただくことと思いますが、普段は安全について考える機会がなかなかないという職場でも、この週間をきっかけにして、災害防止に取り組んでいただくようお願いします。

〔平成29年度 (公社)神奈川労務安全衛生協会藤沢支部スローガン〕

思いやりの精神で、働く人の健康と家族に
安心をもたらす職場をつくろう！

第90回 全国安全週間湘南地区推進大会

6月8日(木) 藤沢市市民会館小ホール

『第90回全国安全週間湘南地区推進大会』が6月8日(木)藤沢市市民会館において、245名(172事業所)の参加者のもとで開催されました。

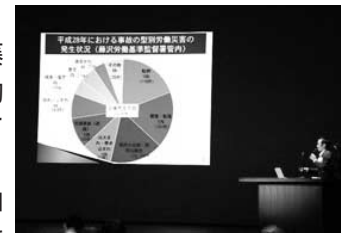
はじめに(公社)神奈川労務安全衛生協会藤沢支部加藤支部長による開会挨拶があり、引き続き藤沢労働基準監督署鹿島署長より、災害統計を長期的に見ると減少傾向にあるのは企業の安全管理や法律の改正などが機能している結果であると思われるが、労働災害を防ぐためには現状の対策を続けるだけでなく、第三次産業の増加や設備や化学物質の多様化などの環境の変化に応じたリスクアセスメントが不可欠であり、職場での積極的な取組のお願いを致したい、とのお話を頂戴いたしました。

来賓の代表として藤沢市鈴木市長よりご祝辞を頂いた後に、藤沢労働基準監督署関安全衛生課長より、『第90回全国安全週間実施要項』について、継続的に実施する事項として13項目についてのお

話を頂きました。また、国内・神奈川県内・藤沢監督署管内での労働災害発生件数についての説明がありました。

特別講演としては仙台港サイロ株式会社代表取締役社長西方氏より「仙台港サイロ社長の3・11」というテーマでご講演を頂きました。社員の方が実際に撮影された迫りくる津波の映像や西方氏の震災の体験談は、講演会冒頭での「震災はテレビなどで見るものより実際はもっと恐ろしいものです」という言葉に強く印象付けられるものでした。仙台港サイロ株式会社では経験を基に津波対策を行い、震災を忘れてはならないと3月11日を避難訓練の日とされています。日頃からの「かもしれない」災害対策の大切さを再認識する講演内容でした。

大会の締めくくりとして建設業労働災害防止協会神奈川支部児玉湘南分会長より閉会挨拶を頂き終了いたしました。(株)HGSTジャパン 日高



優良工場見学研修会

アサヒビール(株)神奈川工場・小田急電鉄(株)大野総合車両所を見学

6月12日(月)に平成29年度の「優良工場見学研修会」を開催しました。今回は45名(33社・事務局含む)の参加があり、アサヒビール(株)神奈川工場と小田急電鉄(株)大野総合車両所を訪問しました。

最初に見学させていただいたアサヒビール(株)では、ご案内係の方がビールの製造工程やミニ知識を楽しくご紹介してくれました。原料展示ではビールの主原料である麦芽やホップに実際に触れることができました。また、仕込室ではビールの元となる麦汁をつくるための大きな釜があり、その巨大さに驚きました。缶ビール製造ラインでは、1分間に1500本の缶ビールが製造されており、目の前で驚異的なスピードと迫力を味わうこともできました。アサヒビールでは製造ラインビールの味はもちろんですが、香り、泡立ち、色などの品質にも厳しく管理されていることがとても印象的でした。

続いて、昼食休憩を挟み、小田急電鉄(株)へ伺いました。大野総合車両所は約5万9千平方メートルの広い敷地にあり、電車を分解して大掛かりな検査や修理などの作業を行うことのできる小田急電鉄では一番大きな施設の様です。敷地内には、全般検査や重要部検査などを行う建物が点在して

いました。最初に小田急電鉄の安全衛生活動や事務所内での業務内容を拝見させていただき、その後、大野総合車両所で作業現場を見学させていただきました。ここでは年間297両の車両が検査されており、中でも防音対策として、車輪の工夫や検査は精度をあげた取組がなされておりました。車両等、大型な部材などを取扱うため安全面でも非常に配慮された車両所を見学でき、とても有意義な時間を過ごせました。

最後になりますが、バスの提供を行っていただきました自動車(株)藤沢工場様に感謝の意を表し、会員事業場の益々のご発展と従業員の皆様のご健康をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

TOTO(株) 高橋



アサヒビール(株)神奈川工場



小田急電鉄(株)大野総合車両所

藤沢労働基準監督署からのお知らせ



労働保険の年度更新について

～労働保険（労災保険・雇用保険）の申告手続はお済みですか？～
平成29年度の年度更新は、7月10日（月）までに手続をお願いします。

労働安全衛生規則等の一部を改正する省令等について

【平成29年3月29日公布、平成29年6月1日施行】

改正の内容

産業医の定期巡視の頻度の見直し（労働安全衛生規則第15条関係）

少なくとも毎月1回行うこととされている産業医による作業場等の巡視について、事業場から毎月1回以上産業医に所定の情報が提供されている場合であって、事業者の同意がある場合には、産業医による作業場等の巡視の頻度を、少なくとも2月に1回とすることを可能とする。

- 1 衛生管理者が少なくとも毎週1回行う作業場等の巡視結果
- 2 1に掲げるもののほか、衛生委員会等の調査審議を経て事業者が産業医に提供することとしたもの

健康診断の結果に基づく医師等からの意見聴取に必要となる情報の医師等への提供

（労働安全衛生規則第51条の2ほか8省令8条文関係）

事業者は、各種健康診断の有所見者について医師等が就業上の措置等に関する意見具申を行う上で必要となる労働者の業務に関する情報を当該医師等から求められたときは、これを提供しなければならないこととする。

長時間労働者に関する情報の産業医の提供（労働安全衛生規則第52条の2関係）

事業者は、毎月1回以上、一定の期日を定めて、休憩時間を除き1週間当たり40時間を超えて労働させた場合におけるその超えた時間の算定を行ったときは、速やかに、その超えた時間が1月当たり100時間を超えた労働者の氏名及び当該労働者に係る超えた時間に関する情報を産業医に提供しなければならないものとする。

安・健・快 雑感

文武両道で健康に・・・

私は小学校5年生からバスケットボールをはじめ、中学・高校・大学もバスケ部に所属しておりました。文武両道の精神は現在でも継続しており、週末は会社のバスケ部で汗を流すことが日課となっています。

私が勤務するプレス工業は陸上部がニューイヤーズに8年連続で出場するなど有名ですが、実はバスケ部にも力を入れており、実業団の全国大会に6回出場した実績があります。

試合には選手の上司をはじめとする従業員、そのご家族・友人など多くの方が駆けつけ、熱く応援して下さいます。普段一緒に働く社員が選手として頑張っている姿を見たいという方が多く、選手・応援する方がお互いに勇気・活力をもらっています。これが企業スポーツの醍醐味なのではないかと思えます。



プレス工業株式会社
つじ ひさし
辻 雅



弊社、藤沢工場には体育館があり、公式戦も頻繁に行われるため、機会がありましたら是非応援の程、宜しくお願いします。また、小学生や中学生を対象にしたバスケクリニックも開催しておりますので、ご興味のある方はお声掛け下さい。

皆さんも休日は汗を流して健康管理の一助としてみたいはいかがでしょうか？



〔当面の支部行事予定〕

化学物質管理リスクアセスメント講習会	7月3日(月)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
職長教育講習会(第2回)	7月12日(水)、13日(木)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
安全衛生推進者養成講習会	7月27日(木)、28日(金)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
KYT講習会	9月1日(金)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
全国労働衛生週間湘南地区推進大会	9月7日(木)	会場：藤沢市民会館小ホール
職長教育講習会(第3回)	9月13日(水)、14日(木)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
衛生推進者養成講習会(第2回)	9月27日(水)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室

〈編集後記〉

私は青ジソの味と香りが好きで、刺身を食べる時には薬味として欠かさないようにしています。

前から青ジソは体に良いと聞いていましたが、どのように良いのかインターネットで調べてみました。すると、脂肪燃焼、抗酸化、血行改善、ストレス緩和、がん予防等々、ありがたい効能が色々書かれていました。

このことを知り、また、現状ほぼ無趣味であることと、昔、実家の庭で雑草のように手間いらずで生えていた記憶とに後押しされ、プランターで種から青ジソを育ててみることにしまし

た。

4月初旬に種をまき、こまめに水をやっていると3週間ほどで双葉の小さい芽が出てきました。芽が出ると嬉しいものです。達成感・充実感もじんわりと感ずることができました。

医食同源という言葉には、「食事に注意することが病気を予防する最善の策である。」という意味もあるそうです。食べてしまうのは少しかわいそうな気もしますが、趣味で育てた青ジソが病気予防の一助ともなれば一石二鳥です。収穫の時を待ちたいと思っています。

メルシャン(株)藤沢工場 渡辺